

クラウドソーシング活用 地域課題解決へ

加古川市が県内初プロジェクト

第1弾は可燃ごみ減量

「クラウドソーシング」と呼ばれ、インターネットで仕事を受注する働き方が広がる中、加古川市は東京の大手仲介会社「クラウドワークス」と連携した県内初のプロジェクトを始めた。同社に全国会員が77万人いる強みを生かし、多様な地域課題に解決への知恵を報酬制で募集する。市の担当者らは「全国のモデル事業を生み出したい」と意気込んでおり、第1弾として14日まで可燃ごみ減量へのアイデアを募っている。

(安藤文暁)

名付けて「まちの課題を解決しようーみんなのアイデア大募集プロジェクト」。

「予想以上の量と質だ」と担当者も驚く。市に寄せられたごみ減量へのアイデアは、昨年12月31日の募集開始



地方創生の現場から

クラウドソーシングで募集し、採用された「研修セミナー」のポスター

(市提供)



「自宅で働く」という選択

女性のための在宅ワークスタートプログラム

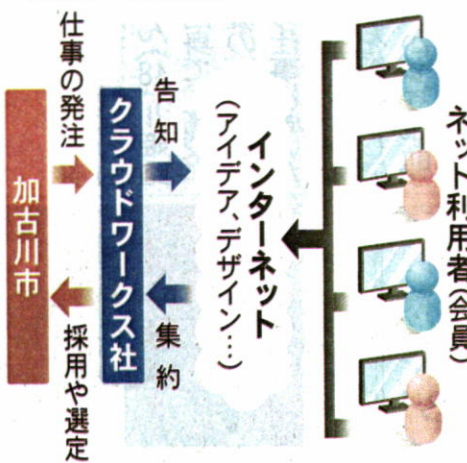
「どうやって始めるの?」「どんな人が働いているの?」「私にもできる?」そんな疑問に答えるオープンセミナーを開催

はじめよう。在宅ワークセミナー

1/21(木)10:00~12:00 場所:加古川市男女共学センター
参加費無料 定員 40名
加古川市加古川町専家町 45 JAビル3階
(先着順) ●講師:株式会社クラウドワークス 田中 優士郎

●インターネットでお申し込みください。 <http://goo.gl/forms/A5ZV11XW0>
●申込期間:1月18日(水)9:00~1/20(金)17:00 (申込受付締め切りは1/15までにお申し込みください)
●QRコードが印刷されています。スマートフォンでも申込できます。
●本セミナーの内容に関するお問い合わせ:079-424-7172 (加古川市男女共学センター)

加古川市がクラウドソーシングを活用する流れ



今回の採用は30点で、市はそれぞれ千円の契約金を支払い、広からデータ入力まで多報でPRして施策への岐にわたる仕事を多様

「市の施策を市内外に知らせ、PRにつなげたい。本年度中に別のテーマでもう1件は実施する」と市の担当者。 「応募には会員登録が必要だが、簡単にできる。新しい働き方として市も支援していきたい」と話す。

からわずか10日で200点を超えた。昨年8月の1カ月間、広報紙などで呼び掛けて集まったアイデア30点弱より圧倒的に多い。

米国で生まれ、日本などで急成長中のクラウドソーシングは、crowd(群衆)とsolution(解決)の造語。レポート作成に関する意見募集でも使えろと判断したという。

「予想以上の量と質だ」と担当者も驚く。市に寄せられたごみ減量へのアイデアは、昨年12月31日の募集開始からわずか10日で200点を超えた。昨年8月の1カ月間、広報紙などで呼び掛けて集まったアイデア30点弱より圧倒的に多い。

米国で生まれ、日本などで急成長中のクラウドソーシングは、crowd(群衆)とsolution(解決)の造語。レポート作成に関する意見募集でも使えろと判断したという。

な企業が発注し、受け手は時間や場所を選ばないため、育児中やフリーランスにも人気だ。市は調査研究を予定するも、地方創生の補助金を活用し、実施に踏み切った。

自宅でもできるため、女性の就労支援に効果的として、手始めにセミナーを計画。ところが委託先に同社が決まり、ポスター募集でクラウドソーシングを活用したところ、6日間で29点が寄せられた。